



未来を担う若い世代に
希望のバトンをつなぐ

豊島区は昨年、区制施行90周年を迎え、次なる100周年に向けた新たな一歩を踏み出しました。90周年記念行事は3月まで続きますが、これまで多くの区民の皆さんや区内企業・団体の皆さんが、まさに「オールとしま」で90周年実行委員会や各記念行事に取り組みられました。一連の取組みを通して、未来の豊島区を創造する「ひと」が育つ土壌ができていくと強く感じています。

現在、郷土資料館で開催中の区制90周年特別展「豊島大博覧会〜過去から学び、今日を生き、未来に希望〜」では、大きく変貌をとげた豊島区のこれまでの歩みを600点以上の資料やジオラマ、映像などで振り返るとともに、発展を続ける豊島区の将来像を池袋駅周辺の大規模型と動画で紹介しています。かつてないほど多くの皆さんにご来場いただいています。かつてないほど多くの皆さんにご来場いただいています。かつてないほど多くの皆さんにご来場いただいています。

中・高校生の皆さんがジオラマや模型を一つひとつじっくり見学しながら、驚きや感動を口にする様子を何度も見かけました。区政に関心が薄いといわれる若い世代の皆さんにも強い関心を持っていただけたことに感謝するとともに、皆さんの笑顔を守ることが、未来の豊島区につながることを確信しました。

本区はどんな厳しい財政状況においても、ぶれることなく、未来に夢をつなげる「文化によるまちづくり」を推進してきました。そして、「消滅可能性都市」との指摘からの脱却も、日本を代表して開催した「東アジア文化都市2019豊島」も、昨年の「区制施行90周年記念行事」も、常に区民や区内企業の皆さんと力を合わせて乗り越えてきました。皆さんとともに歩んだ道のりが「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」の東京初のダブル選定につながり、本区は世界から人を惹きつける、価値あるまちへと発展し続けています。

ひとりで見る夢は「夢」でしかありませんが、みんなで見る夢は必ず「現実」になります。次なる100周年に向け、文化と経済の好循環を創造する「人が主役のウォーカーブル都市」を目指して、これからも心をひとつにして一緒に歩み続けましょう。

高野之夫

新春のお慶びを
申し上げます



豊島区議会議長
木下 広



豊島区長
高野之夫

新春対談

ひとりひとりの
未来への思いが
よいまちをつくる

高野之夫区長

×
十文字高等学校1年
河合乃杏

十文字高等学校3年
毛利ののか

都立千早高等学校2年
佐藤希美

都立千早高等学校2年
西村直喜

豊島区では数々の逆境を乗り越え、ピンチをチャンスに変えるまちづくりによって、大きな成果をあげてきました。そこには地道な過去の努力と歴史があり、この成果は子どもたちへ「希望のバトン」として引き継がれます。

2023年の新春座談会のゲストは区内の学校に通う4人の高校生です。郷土資料館で開催中の「豊島大博覧会」を見学し、豊島区の過去と今、そして未来について語り合いました。

戦後の池袋西口のまちなみに感動

高野 ●今日はよろしくお願ひします。まず、自己紹介からしていきましょう。

河合 ●十文字高校1年の河合乃杏です。私はSDGsや子どものケアに興味を持っていて、ボランティアの部活動をしています。



佐藤希美さん

河合乃杏さん

西村直喜さん

毛利ののかさん

毛利 ●十文字高校3年の毛利ののかです。2年生までは豊島区のSDGsについて調べる活動をしてきました。今は受験勉強に励んでいます。

佐藤 ●都立千早高校2年の佐藤希美です。茶道部での活動に力を入れています。

西村 ●同じく都立千早高校2年の西村直喜です。バドミントン部でがんばっています。

高野 ●私は池袋生まれ、池袋育ちです。立教大学を卒業してからは古本屋さんを営んでいました。46歳で区議会議員になって、都議会議員を経て豊島区長になりました。今日は豊島大博覧会を観てもらいましたが、どうでしたか？

河合 ●昭和30年代後半の池袋西口のジオラマが衝撃的でした。デパートの前に家が建ち並んでいて、よく見ると看板がある。これが昔のマーケットだと理解できました。言葉として知っていたマーケットがどんなものだったかがわかり感動し

ました。毛利 ●私もマーケットのジオラマが印象に残りました。豊島区のことは調べていたが、戦前から終戦直後について、より深く理解できてよかったです。

佐藤 ●マーケットには低い家が建ち並び、そのすぐそばに東武百貨店の高い建物があったのが印象的でした。あそこまで大きな建物ができるのなら、これから生活がよくなる。当時の人々にとって、そう思える「希望」だったのではと感じました。

高野 ●未来を予感するよね。終戦後の池袋では、明日がどうなるかわからない中で、ひしめき合いながら、みんな必死に生きていました。でも、その時代が池袋大発展の原動力です。

西村 ●僕は未来の豊島区のジオラマに驚きました。池袋は高いビルが多くてもう完成形だと思っていましたが、これから今まで以上に、にぎやかな

ちになりそうで楽しみです。高野 ●私は池袋を「人を優先するまち」にしたい。歩行者が回遊できて四季を感じる。4つの公園での時間を楽しめる。高いビルや地下街ではなく、地上で楽しめるまちです。豊島区は「消滅可能性都市」と指摘されたけど、ピンチをチャンスに変えてがんばってきました。豊島大博覧会のテーマは「過去から学び、今日を生き、未来に希望」なので、みんなが意義をきちんと感じてくれていて、本当にうれしいです。

現状に満足せず、未来を示すまちづくり

高野 ●豊島区のどんなところが好きですか？ 佐藤 ●池袋には公園に来る人、アニメの好きな人、外国の方が多く、私とは異なる趣味や国籍、文化を持っている人がたくさんいます。まちを歩くだけで、いろんな人を見られます。

高野 ●多様性だね。誰でも気軽に立ち寄り、いろんな人が楽しめるまちづくりをしてきました。

河合 ●私は芸術鑑賞がすごく好きで、ミュージカルやオーケストラを観に池袋に来ます。それと公園です。池袋は新しい公園がたくさんできたので、「家族で行きたいね」とよく話をしています。

高野 ●新しいホールをつくった時、ある劇団に定期公演をお願いしました。何度も足を運んで、「こんなまちを作っていきます！」と情熱的に語り、招致に成功しました。現状に満足せず、未来を示し、そこに賛同してもらうことが大切です。河合さんが言ってくれた「家族ぐるみで来てくれる池袋」に早くしたいなと思います。

西村 ●僕も公園です。西口のグロースパルキングでは野外劇場で演奏会が行われています。偶然通りかかって観ている人も多いようです。そこから、池袋が芸術やアートのみならず、まちであることがわかって、「このまちいいな」が広がっています。

高野 ●クラシックが流れるまちにして、西口の雰囲気を変えたくて野外劇場をつくったんです。

毛利 ●アートや文化を絡めて都市をつくっているのは、すごくいいなと思います。国際アート・カルチャー都市構想を掲げて、色々なものとアートを組み合わせると、まちは明るくなるし、ほかの地域とは違う独創性が生まれます。

高野 ●ありがたいですね。人間に最も必要なものは、やはりアートであり、文化です。教育文化を大切にしていけば、必ずよいまちができる。ずっと貫いてきて、ようやくアートや文化でまちを変



対談前に豊島大博覧会の説明を受ける生徒たち

えられることが認識されてきました。

住む人、働く人、学ぶ人がすべて区民

高野 ●せっかくですので、皆さん、豊島区をもっとよくなる未来のアイデアはありますか？

河合 ●将来、グローバルに活躍したいので、外国の方と触れ合えるまち、そして音楽と多様性があふれるまちになったらいいなと思います。

毛利 ●私は将来、不登校の子たちの支援をしたいので、高校生でも参加できるイベントの実施や支援の場を作ってほしいです。それと、学校教育で教員が不足している科目に大学生や社会人が参加できる環境ができれば私も参加したいです。

佐藤 ●人の交流が生まれるイベントが増えると思います。今回の豊島大博覧会のようなイベントも多くの人に知ってもらえるようにして、訪れた人が気軽に参加できるガイドツアーがあれば、高校生や若い人たちも来やすいと思います。

西村 ●僕は古き良き文化や歴史をもっと知ることのできる機会があったらいいと思います。豊島区には自由学園明日館や雑司が谷鬼子母神堂など歴史ある建物もあります。そういった歴史をみんなで学んで未来につなげることが大切だと思います。

高野 ●皆さんの意見に感謝します。豊島区は住む人、働く人、学ぶ人がすべて豊島区民です。ひとりの力では何もできません。皆さんが熱い思いを持って、未来のことを考えてくれるからこそ、よいまちができていくのだと思います。今日は本当にありがとうございました。

千早高等学校

ビジネスと英語を中核とした進学型専門高校。CBP(千早ビジネスプロジェクト)というサークルが課外活動をしている。CBPは区と連携してペットボトル回収ボックスを区施設に設置し、同校指定ソックスへのリサイクルを行うなど、様々な事業・イベントに参加し積極的に活動している。昨年は、豊島区東日本大震災災害復興支援コンサートや、郵便局と共同でSDGsについて考える取組みなどを行った。



豊島区東日本大震災災害復興支援コンサート

十文字高等学校

大正11年から女子教育に取り組み、昨年100周年を迎えた。地域とのつながりを重視し、生徒会の交通安全運動、同好会の清掃活動、吹奏楽部のパレード参加などを行う。昨年は、自己発信コースの授業の一環として、大塚駅前の清掃活動に参加したほか、「2022 Xmas Otsuka SDGs Event」で、生徒有志がウクライナと日本の子どもたちの交流プログラムを企画するなど、SDGsを意識した区との連携がより深まっている。



大塚駅前の清掃活動



豊島大博覧会

1月5日(木)~3月26日(日)

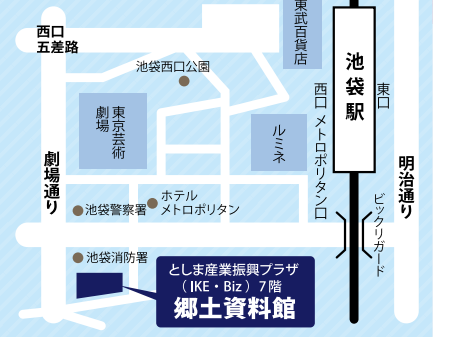
午前9時~午後6時

郷土資料館(西池袋2-37-4)

休館日…月曜日、第3日曜日、1月10

日(火)、2月11・23日(祝)、3月21日(祝)

図当館 ☎3980-2351



1月14日(土)から再開

IKE・SUN PARK FARMERS MARKET

毎週土・日曜日 午前10時～午後4時 としまどりの防災公園(IKE・SUNPARK)

旬な農産物を生産者が直接販売します。区内の名品や交流都市の逸品も出店!

詳細はホームページ参照か問い合わせてください。 ☎ 当事務局 ☎6914-1782



1月に販売の旬な農産物(予定)

- ★ほうれんそう
- ★ブロッコリー
- ★にんじん
- ★かぶ
- ★いちご
- ★柿
- など



新春初夢ツアー

1月21日(土) 午前10時～午後0時30分 JR駒込駅北口交番横「染井吉野桜記念公園」午前9時50分集合、南北線本駒込駅付近解散※小雨決行

駒込の一富士、二鷹、三茄子を地元ボランティアガイドが案内◇15名◇300円
 往復はがき(住所、氏名、年齢、連絡先(複数参加の場合は全員の氏名、年齢)も記入)で1月5～13日(必着)の間に「〒170-0003 駒込2-2-2 駒込地域文化創造館『としま案内人駒込・巣鴨』ツアー係」へ。2次元コードから申込みも可※先着順。
 としま案内人駒込・巣鴨 オガワ ☎090-1456-1833



年始暮らしのガイド

☎ 総務課総務グループ ☎3981-4451 (1月3日までは区役所 ☎3981-1111へ)

施設名		年始(から)	施設名		年始(から)
区役所(生活福祉課、西部生活福祉課含む)、東部区民事務所、西部区民事務所		1月4日(水)	芸術文化劇場(東京建物 Brillia HALL)、としま区民センター、地域文化創造館、トキワ荘通り昭和レトロ館(昭和歴史文化記念館)		1月4日(水)
区民集会室など	巣鴨第一・第三、西巣鴨、北大塚、上池袋第一・第二、東池袋第四、西池袋第二、池袋本町第一・第二、雑司が谷、高田第一・第二、目白第二、南長崎第一・第二・第四、長崎第三・第四・第五、要町第二、高松、千川、上池袋コミュニティセンター、帝京平成大学池袋キャンパス内集会室、心身障害者福祉センター会議室、駒込福祉作業所会議室	1月4日(水)	文化施設	あうるすぽっと(舞台芸術交流センター)、郷土資料館、鈴木信太郎記念館、雑司が谷旧宣教師館、みらい館大明、図書館	1月5日(木)
	池袋第三、目白第一	1月5日(木)		豊島ふくろう・みみずく資料館	1月7日(土)
暮らしの関係施設	ふるさと千川館	1月2日(振休)	体育施設	豊島体育館、巣鴨体育館、総合体育場、西巣鴨体育場、荒川野球場、三芳グラウンド、南長崎スポーツセンター(多目的広場を含む)、雑司が谷体育館、池袋スポーツセンター	1月4日(水)
	南池袋斎場	1月3日(火)		観光・公園施設	雑司が谷案内処
	としま産業振興プラザ(IKE・Biz)、区民ひろば(区民ひろば集会室含む)、豊島清掃事務所、自転車駐車場	1月4日(水)	豊島区観光情報センター、トキワ荘マンガミュージアム、トキワ荘通りお休み処、池袋の森、目白の森、目白庭園、としまキッズパーク		1月4日(水)
	男女平等推進センター、自転車保管所	1月5日(木)	土木事務所	公園管理事務所、道路工事事務所	1月4日(水)
豊島リサイクルセンター	1月7日(土)	まちづくりセンター	染井、上池袋第一・第二、東池袋	1月4日(水)	
保健・福祉・教育施設	高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)、高田介護予防センター、東池袋フレイル対策センター、心身障害者福祉センター、福祉作業所、生活実習所、東・西障害支援センター、池袋保健所、長崎健康相談所、中高生センター、子どもスキップ、東・西子ども家庭支援センター、区立保育園、教育センター、豊島健康診査センター、豊島区民社会福祉協議会、豊島区シルバー人材センター、東京広域勤労者サービスセンター	1月4日(水)	新型コロナウイルスワクチン	集団接種会場	1月6日(金)
	池袋本町プレーパーク	1月5日(木)	その他開放施設	地域活動交流センター	1月4日(水)
			休館中	区民集会室(東池袋第二、池袋第二、要町第一)	

広報としま12月21日号(情報版)1面「年末年始暮らしのガイド」の記事の中で、誤りがありました。あうるすぽっと(舞台芸術交流センター)の年始の利用開始日は、1月4日(水)ではなく1月5日(木)です。お詫びして訂正します。

年始の休日診療などのご案内

☎ 地域保健課管理グループ ☎3987-4203 (1月3日までは区役所 ☎3981-1111へ)

受診の際は、事前に電話してからお越しください(薬局は不要)。健康保険証を忘れずにお持ちください。

診療機関	診療日	受付時間	所在地	電話番号
内科・小児科	池袋休日診療所	午前9時～正午、午後1時～9時30分	東池袋4-42-16 池袋保健所1階	3982-0198
	長崎休日診療所		長崎2-27-18 3階	3959-3385
	ちあふるクリニック東池袋小児科	午前9時～午後4時30分	東池袋4-2-1-303 プラウドタワー東池袋ステーションアリーナ	6907-0525
	及川醫院		巣鴨1-40-5 おいかわメディカルモール2階	3945-9270
歯科	池袋歯科休日応急診療所	午前9時～午後4時30分	東池袋4-42-16 池袋保健所1階 あぜりあ歯科診療所内	5985-5577
薬局	池袋あうる薬局	午前9時～午後9時30分	東池袋4-42-16 池袋保健所1階	3984-7540

- 都立大塚病院内の「豊島文京(平日準夜間)こども救急」は、年始(1月1～4日)は実施していません。
- 午前中の混雑状況により、午後の診療開始時間が遅れることがあります。また、極度に混み合っている際は夜間の診療受付の時間を短縮する場合があります。
- 交通障害を伴うような悪天候の場合は診療を中止することがあります。

医療機関案内など

医療機関案内サービス「ひまわり」(東京都保健医療情報センター)

- 日本語音声案内(24時間受付) ☎5272-0303、<https://www.himawari.metro.tokyo.jp/>
- 聴覚障害者の方向け専用ファクシミリ案内(24時間受付) ☎5285-8080
- 外国語での医療情報サービス(毎日 午前9時～午後8時) ☎5285-8181(英語、中国語、韓国語、タイ語、スペイン語)

東京都発熱相談センター(24時間受付)

- 新型コロナウイルス感染症が心配で、かかりつけ医がいない場合や、土・日曜日や夜間などでかかりつけ医が休診の場合(多言語対応) ☎6258-5780、☎5320-4592、☎5320-4551、☎5320-4411
- 医療機関案内専用ダイヤル ☎5320-4327、☎5320-5971、☎5320-7030

東京消防庁

- 救急相談センター(24時間受付) ☎#7119、☎3212-2323
- 救急病院案内(受診可能な救急病院をホームページで案内) <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/tfd/kb/index.htm>
- 豊島消防署 ☎3985-0119 ● 池袋消防署 ☎3988-0119

東京都

- 小児救急電話相談(平日…午後6時～翌朝8時、土・日曜日、祝日、年末年始…午前8時～翌朝8時) ☎#8000、☎5285-8898
- 東京都子ども医療ガイド <https://www.guide.metro.tokyo.lg.jp/>